

令和2年10月7日現在
愛知県中学生軟式野球連盟

1、主催者としての準備・対応

(1) 受付

- ・受付窓口は、各会場本部1か所とし、代表者のみ受付を行うこととする。受付窓口には、手指消毒剤を設置する。
- ・各会場の入り口にも手指消毒剤を設置する。
- ・参加者、観戦者への手洗いを呼びかける。
- ・発熱や軽度であっても咳・咽頭熱などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける。
- ・人と人が対面する場所は、必ずマスクを着用させる。
- ・参加者が距離をおいて並べるように、目印の設置をする。
- ・開会式は行わず、各会場での開始式とする。また、当日の受付は各会場で行うこととし、密集を避ける。
- ・その他必要な手続きは、抽選会時に行うこととし、当日の混雑を極力避ける。

(2) 手洗い場所・トイレ

- ・手洗い場所・トイレについては、各会場の指定された場所を必ず使用させる。
- ・手洗い場にはポンプ型の石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのタオル等を参加者に持参するよう案内する。
- ・手洗いが難しい場所は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ・毎試合後、複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、手洗い場、水洗レバーなど）について、消毒を行う。

(3) 休憩・待機スペース

- ・休憩・待機スペースについては、各校が混在することのないよう、十分な間隔を取る。また、同チーム内でも密集を避けるよう呼びかける。
- ・毎試合後、スペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子、ロッカーの取手など）について、消毒を行う。

(4) ごみの廃棄

- ・鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、各自で持ち帰らせる。
- ・ごみを回収する場合は、マスクや手袋を着用する。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をする。

(5) 観客の入場制限及び管理

- ・観客については、該当チームの部員、学校関係者、家族のみとする。
- ・大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用することなどを周知する。
- ・観客席が密にならないように、一定の距離を保って観戦するよう注意喚起を行う。（応援席に張

り紙を貼付したり、放送による呼びかけを行ったりする。)

- ・毎試合後、観客の入れ替え時に、共用部分の消毒を行う。

(6) 感染確認時の対応

- ・参加チーム内および大会において感染者が発生した場合は、チームの活動停止ならびに大会の延期や中止も念頭に置いた上で、感染時期や経路等を含め慎重に判断する。
- ・出場チームについて、選手ならびに保護者の中で大会期間中の感染が確認された場合、感染が確認された時点で、速やかに大会本部に報告・連絡をしてもらうように協力依頼をする。大会本部は、愛知県スポーツ局に速やかに報告する。
- ・万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮する。

- ・活動後2週間以内に感染した場合、チーム責任者は速やかに大会事務局事務局に連絡する。

<報告事項>

発症年月日、性別、年齢、連絡先、直近の活動参加日、場所、参加人数、感染した後の状況

※連絡先はチーム責任者の連絡先が望ましい。また、個人情報の提供は強制ではない。

(7) その他

- ・参加チームの選手、監督、コーチ、および大会運営役員、審判員については、当日の朝、健康チェックシートを本部に提出することとする。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用する。
- ・各会場の両ベンチには、消毒液などを設置する。
- ・次の試合のチームは、前のチームが全員退出し、出入り口での密集を避けてグラウンドに入るよう指示する。
- ・試合間のインターバルを十分に設定し、選手ならびに関係者の密集のリスクを避けるとともに、入れ替え時にベンチなどの共用部分の消毒を毎回行う。
- ・試合開始時は、各チームのベンチ前での整列とし、ホームベース前の集合はしない。
- ・選手やチームを全員集めるなど、密集させることがないように配慮する。
- ・審判員の試合中のマスク着用については、審判員の判断とする。球審はマスクを着用することが望ましいが、軟式野球の競技環境および競技の特性を考慮し、マスク着用の義務付は行わない。

2、参加者の遵守事項

(1) 健康観察

- ・大会当日に、以下の情報が記載された健康観察カードを提出する。

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する。
- ② 大会当日の体温（37.5℃以上の発熱が確認された場合、その選手の参加は認めない）
- ③ 大会前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる、疲れやすい等

カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ク 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 飛沫防止・消毒

- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用する。また、試合前の攻守決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行う。
- ・運動時のマスク着用は参加者等の判断によるものとするが、参加の受付、ベンチの入れ替え、着替え、表彰式など、運動行っていない間、特に会話をするときには、マスクの着用をする。
- ・試合開始時は、各チームのベンチ前での整列とし、ホームベース前の集合はしない。
- ・会場内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行う。
- ・プレー中に必要以上に大きな声での会話や応援等は控える。
- ・試合中のマスク着用については、選手の判断とするが、ベンチ内にいるときには、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮する。
- ・監督、部長、およびコーチは、試合中原則マスクを着用する。マスクを外して指示をする場合は、選手と十分な間隔を保ち、指示も必要最小限に留める。

(3) ソーシャルディスタンス

- ・人との距離を可能な限り2m以上確保し、ベンチ内では一定間隔を保つよう努力する。
- ・全選手が密集・密接する円陣や声出しなどは控える。
- ・ウォーミングアップなどでは、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線にぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取るなど配慮する。
- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を考えて行動する。
- ・観客席が密にならないように、一定の距離を保って観戦するよう、チームごとに応援者へ注意喚起を行う。

(4) 飲食・ごみの処理

- ・飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行う。
- ・水筒や飲料用ボトル等の共用、回し飲みなどはしない。
- ・飲食については、周囲となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする。
- ・ごみは各自持ち帰る。特に鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。

(5) エチケット・マナー

- ・日ごろから、手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行を行う。
- ・万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮する。

(6) その他

- ・タオルの共用はしない。
- ・目、鼻、口に極力触らないよう心掛ける。